やっさもっさ（1953）

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1953/02/25

【解説】
　渋谷実監督による「てんやわんや」「自由学校」に続く獅子文六作品の映画化。前二作同様、斎藤良輔が脚色を担当している。
　志村亮子は横浜で慈善事業の混血孤児収容所〈双葉園〉の理事を務めていた。夫の四方吉はかつて優秀な実業家だったが、終戦とともに虚脱状態となり、今はパンパンの英文レターの代筆で小遣いを稼ぐ毎日。そんな四方吉はキャバレーを手伝うことになり、ふだん自分を馬鹿にしていた亮子のもとを去っていった。四方吉は自分を見込んでくれた新興財閥の武智のため、土地買収の交渉をした。交渉相手はドゥヴアルという外国人バイヤーだったが、彼は半金を受け取るとそのまま海外へ逃げてしまった。土地はすでによそに売却済みだったのだ。

【クレジット】
監督 渋谷実
製作 山本武
原作 獅子文六
脚本 斎藤良輔
撮影 長岡博之
音楽 黛敏郎　Toshiro Mayuzumi
出演 淡島千景
佐田啓二
桂木洋子
小沢栄
東山千栄子
倉田マユミ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.